

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援センターかしのき園（保育所等訪問支援）				公表日	2025年 2月 25日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・整備・運営・体制	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	2		・児童発達管理責任者に相談しながら、対象児童に適切な物を作製する。 ・写真カード、足型、手順カードなどを常備し、すぐ使えるようにしている。	・状況に応じた教材をその都度用意し活用していく。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	1	1	・訪問し助言できる職員が少ないため、受入人数に限りがある。	・訪問支援の利用希望者を断っている状況のため、訪問支援を行える職員を増やす必要がある。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2		・定期的に話し合いなどは行っている。	・支援に携わっている職員で情報共有をする時間をもっと増やしていく。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		2	・今年度10月に保護者評価を実施。	・保護者による評価を行うのは、今回が初めてのため、意向を踏まえて今後改善に取り組む。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	1	1	・従業者全員で訪問の情報は共有していないが、関与している職員間では共有し、支援に繋げている。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		2		・実施していない。	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	2		・研修の機会や情報は良く提示されている。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	2		・定期的に聞き取りや振り返りを行い、計画に取り入れている。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	2		・定期的に情報共有をする時間を設けている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	2		・毎回、担任とカンファレンスを行っているので必要事項はを記載している。		
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・計画書には課題が挙げられているので、内容に沿って支援を行っている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	1	・訪問先、家庭においての課題が主のため、特にインフォーマルアセスメントは使用していない。	・フォーマル、インフォーマルのアセスメントの内容情報収集ができていないため、今後の課題のひとつ。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	2		・実施している。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	2		・実施している。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	1	・毎回はできていない。	・打合せの数を増やしていきたい。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		2	・何ヶ月かに一度、まとめで情報共有している。	・毎回ではなく、必要に応じて気付いた点を共有しているので、今後は毎回行えるようにしていきたい。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	2		・各訪問先の取り組みや方針などは理解した上で助言等を行っている。		
	18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	2		・記録は毎回取り、支援に繋げている。		

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	2			・保護者と対面で話す機会が少なく、電話でのやり取りがほとんどのため、モニタリングの内容など見直す必要がある。
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		2		・問題行動などがあった場合は会議を実施しているが、今年度実施、参加はない。
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	2			・必要に応じて情報交換、共有を行っている。
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	1	1		・就学先等には子どもの利用施設が情報共有を行うため、直接連絡はとっていない。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	2			・必要な時や定期的に行っている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	1	1		・あまっこ部会、社会福祉協議会の会議などに参加している。
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2			・保護者からの相談連絡が入った時は必ず傾聴し、アドバイス等を行い、子どもの状況を共有できるようにしている。
保護者等への説明等	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2			・就学説明会を毎年実施し、年長児の保護者に参加を進めている。
	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2			・契約時に書類に基づいて説明を行っている。
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	2			・サービス開始前に施設へ訪問し説明を行っている。
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	1	1		・毎月保護者と懇談をしているため、その意見を計画書に記載している。
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	2			・作成後、説明と書類に確認のサインをもらっている。
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	2			・毎日、訪問の報告など情報共有をし、相談もその時に聞いて話し合っている。
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		2		・保育所等訪問支援では実施していない。
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	2			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		2		・児童発達支援は行っているが、保育所等訪問支援は行っている。
訪問先施設への	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2			・留意している。
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	2			・配慮を心がけている。
	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	2			・随時対応できることを伝えている。
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	2			・毎回、話し合う時間を設けている。
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	2			・様子を毎回伝えている。（対面や電話で）

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	2		・留意している。	
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	2		・訪問先からの質問などもあり、一緒に考えながら取り組みをしている。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	1	法人施設内で取り組んでいる。	・訪問先のマニュアル等の理解がほとんどないので、今後学んでいきたい。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	1	法人施設内で取り組んでいる。	
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	2		法人施設内で取り組んでいる。	
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	2		・虐待防止などのための倫理委員会を法人内で設け、定期的に会合を持ち、職員全体向けに年1回研修を行っている。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。		2	・施設内では指針の策定は行っている。 ・保育所等訪問支援では身体拘束等の対応はない。	